

過去の意味を表す「主語＋是＋動詞句＋的」 文型二形式について

栗 原 千 里

1 筆者は「主語＋是＋動詞句＋的」¹文型に就いて一定期間に亘って研究を続けているが、一般的に言われる所の当文型の過去の意味は当文型内で構造的に内包される所ではなく、当文型とその相関連する複数要因が相互に作用し合うことに因って成り立っている特殊形態であると考えている。本論文に於いてはこの様な「主語＋是＋動詞句＋的」文型が過去の意味を表し得る形式に就いて考察してゆきたいと思う。

因みに此処で言う所の過去の意味とは、動作行為等が発話時現在前に於いて発生終了していると云う意味を指している。一度発生した状態が発話時現在に於いても尚存在していると表すのは已然義（現在完了の意味合い）であり、過去の意味とは一応区別させて頂くこととする。

2 其処で、従来の筆者の研究経緯を先行研究も交えて簡単に述べさせて頂きたいと思う。「主語＋是＋動詞句＋的」文型は端的に言うと、「主語」は「動詞句＋的」である（「是」は「である」と云う程の意味）と云う文意であると解釈出来る。基本的に単純な構造しか有さない文型であるので、当文型内に時制を表し得る様な機能が備わっていないことは明白である。結局は——「主語」部分の表す事物が「動詞句＋的」の動詞句部分の表す文意を性質として具有する何等かの媒体である——と表すに止まり、朱徳熙氏の言う所を借りれば、——主語部分の表す事物が「動詞句＋的」部分の表す性質を持つものである——と分類される²、と云う程の文意にしか成らない。当文型が過去の意味を表し得る

場合と云うのは当文型とその相関連する複数要因が相互に作用し合い、過去の意味を表し得る必要条件を満たした場合のみに限られるので、当然乍ら過去の意味を持ち得ない場合も多数存在するのである。

2.1 「主語＋是＋動詞句＋的」文型が過去の意味を表さない場合は多数存在し、多種多様なものが存在するが、此处ではその一部分を例示するに止める（一重線主語部分，二重線動詞句部分，以下同様）。

- 1 小的是上北京给督抚³大人送信的，回来过河时，因渡船翻了，小的银两全落入河中，所以……（刘墉）
- 2 两个人大约也是涉越了黄河故道初到此店，见胤禛也是一脸书卷气，不禁微微一笑。胤禛因打一揖道：“二位是赶北闈⁴的么？”（雍正）
- 3 “……你从军西征，以一员微末偏将，先斩后奏，杀掉陕西总督葛礼。你不是善人。”年羹尧听了，神情松弛下来，笑道：“我当什么大不了的呢！这都是人人都知道的？”（雍正）
- 4 吕夷简…本以为此事不会再有提起，想不到刘采苹又寻起李静婵的亲戚，还给了他一个官儿做，真不知道刘采苹是怎么想的。（仁宗）

文例1は主語部分「小的（私め）」が動詞句部分「上北京给督抚大人送信（北京へ上り総督や巡撫と云った御偉い方々へ御手紙を届けている）」の最中である云う文意で，文例2は主語部分「二位（御二方）」が動詞句部分「赶北闈（科挙の試験へ駆け付ける）」の最中である云う文意で，文例3は主語部分「这（これ）」——「这（これ）」は直前の「你从军西征，以一员微末偏将，先斩后奏，杀掉陕西总督葛礼（御前は西方遠征に従軍し，一介の末端の武将であり乍ら，事後報告で陝西総督のガリを殺害した）」部分が示す事実が存在していると云うことを指している——が動詞句部分「人人都知道（人々が皆知っている）」の状態であると云う文意で，文例4は主語部分「刘采苹（劉采苹）」が動詞句部分「怎么想（如何に考えている）」の最中である云う文意で，文例1～4動詞句部分は皆過去の意味を表しておらず，過去の意味と言うよりも寧ろ発話時現在に於ける動作進行又は状態持続的意味を表していると見るべきであろう。他にもこの様な文例は多数存在するのであるが，本論文の主旨は飽く迄「主語＋是＋動詞句＋

的」文型が過去の意味を表す形式に就いて考察することなので、これ位に止める。当文型は必要条件を満たさなければ過去の意味を表し得ないのである。

2.2 それでは如何様な場合に「主語＋是＋動詞句＋的」文型が過去の意味を持ち得るのかこれに就いても言及してゆきたいと思う。史有為氏の観点より言えば、主語部分（主語部分が表す事物）と動詞句部分（動詞句部分が表す文意）との間に因果関係が見て取れる場合に於いて過去の意味を持ち得ると云うことに成る⁵。動詞句部分が表す文意の発生終了を経て主語部分の表す事物が結果として存在していると見做せる場合、原因（動詞句部分が表す文意）が発生終了した後結果（主語部分が表す事物）が追隨して発話時現在に於いて存在するので、動詞句部分が表す文意は発話時現在より繰り上がって過去の意味を表し易く成るのである。

- 5 胤禛看了看坎儿，却不似狗儿的活泼机灵，腮帮微微鼓起，总似一副刚睡醒的模样，因笑问：“你们是宝应逃过来的？家里大人呢？”（雍正）
- 6 那年河东闹灾，我父母带着我从太原逃到河北，没多久便双双下世，我是跟着教房妈妈长大的。（仁宗）
- 7 但有人密告你贿赂考官，营私舞弊，这个第一名是花钱买来的，不知你作何解释？（刘墉）
- 8 此物叫做玉玲珑，是当年康熙爷赏赐江宁织造曹玺⁶的⁷，后来曹家被炒，败落下来，曹家的奴才就偷出这件宝贝卖给珠宝商。（刘墉）

文例5は動詞句部分「宝应逃过来（宝应より逃れて来た）」と云う文意の発生終了を経て発話時現在に於いて主語部分「你们（御前達）」——「你们（御前達）」は直前の「坎儿（坎児）」と「狗儿（狗児）」の二人を指している——がその場に存在しており、文例6は動詞句部分「跟着教房妈妈长大（教坊の女師匠に付き従って大人に成った）」と云う文意の発生終了を経て発話時現在に於いて成人した主語部分「我（私）」がその場に存在しており、文例7は動詞句部分「花钱买来（金を払って買い入れた）」と云う文意の発生終了を経て発話時現在に於いて主語部分「这个第一名（この第一位）」が現に存在しており、文例8は動詞句部分「当年康熙爷赏赐江宁织造曹玺（当年康熙皇帝陛下が御褒美として江寧織造の

曹璽に御下賜された)」と云う文意の発生終了を経て発話時現在に於いて主語部分「玉玲瓏（玉玲瓏）」がその場に存在しているのであるが、文例5～8は過去の意味を表す当文型の典型例である。

文例5～8の様な場合、動詞句部分が表す文意（原因）と主語部分が表す事物（結果）との間に因果関係が見て取れなければ成らないと云うことは既に言及済みではあるが、更に主語部分の表す事物が発話時現在に於いて必ず存在していて且つその存在状況も確認されている特定事物でなければ成らないと云う点も重要である。主語が表す事物は発話時現在に於いて確実に存在していて且つ存在状況も確認されているからこそ、動詞句部分が表す文意が発話時現在に於いては既に発生していないと判断出来るに至る（詰まり既に終了していると判断出来るに至る）。因って動詞句部分が表す文意は発話時現在以前に於いて発生終了したものと見做すことが出来、其処で結果として存在している主語部分が表す事物の存在時間点である発話時現在を基準として、爰に動詞句部分に対する過去の意味を確定せしめるに至るのである。文型全体より言えば、——主語部分が表す事物は過去の意味を含む動詞句部分の文意を性質として具有する媒体——であると云う具合に成る。元来の——主語部分の表す事物が動詞句部分の表す文意を性質として具有する何等かの媒体——であると云う文意より、過去の意味が付加された文意に発展変化したものに成ったと見る事が出来る。

因って若し主語部分の表す事物が不特定事物である場合、当然乍ら過去の意味を表し得なく成る。

- 9 第二种人也是满腹经纶，但不像第一种人那样读死书死读书，他能把所读内容部分用于为人处事之中，但于是从书本中得来的，为人呆板，处事愚讷，不懂嬗变，好钻牛角尖，认准一个理便不回头，八匹马也拉不回来，按照老百姓的一句话是喝死牛血⁸长大的，刘墉正是这样的人。（刘墉）

- 10 “那么羊霜霜最瘦又作何解释呢？”“羊霜霜⁹全是羊血灌的，里面没有一点儿肉，当然最瘦了”（刘墉）

一見すると、文例9は動詞句部分「喝死牛血长大（頑固一徹で育ってきた）」と云う文意の発生終了を経て主語部分「第二种人（二種類目の人）」が存在すると

見做せ、文例10は動詞句部分「羊血灌（羊の血を注ぎ込む）」と云う文意の発生終了を経て主語部分「羊霜霜（羊小腸煮込み）」が存在すると見做せるのではあるが、文例9～10主語部分「第二种人（二種類目の人）」、「羊霜霜（羊小腸煮込み）」は特定事物ではなく、一般事例（詰まりは不特定事物）を指しているので、主語部分の表す事物が発話時現在に於いて確実に存在していてその存在状況も確認されている訳でもなくなり——詰まり、一般的に見受けられる「第二种人（二種類目の人）」、一般的に見受けられる「羊霜霜（羊小腸煮込み）」と云うこと——、発話時現在と云う時間的基準が不明瞭と成り、足場が崩されるような形で、結果として過去の意味を表し得なく成るのである。

2.3 又次の様な場合も「主語＋是＋動詞句＋的」文型が過去の意味を表すものである。

- 11 “爷，一定是与丢失《永乐大典》一案有关吧？”刘墉想了想说：“正是此事，所以要你二人给我保密，我是不得已才撒谎的，还要连累你二人说谎。”（刘墉）
- 12 纸条上是秦采薇的笔迹，只写了几个字：我走了，不用找我。“刚才打扫秦姑娘的房间，在案子上见到的，奴婢不敢耽搁，赶紧拿给老爷看。”（仁宗）
- 13 刘墉命人拉开白玉莲，一拍惊堂木，喝道：“钟自鸣，你是如何害死富全的，还不从实招来！”（刘墉）
- 14 “杜提刑说，孙大虫的罪绝不可赦。如果他曹将军再干涉刑狱，连他也要问个包庇下属之罪！”“什么？”曹汭一听，气得差点儿跳起来，被阎文应一把按住。“他真的这么说的？”“一字不差！”（刘墉）
- 15 长脸不说话，挥起拳头朝年轻人打过来，年轻人猝不及防，应声倒地……女子答道：“这位哥哥是为救我才挨的打，我就这么走了，太不仁义了！”（仁宗）
- 16 子煦，当年你从侍卫调离京师，朕也是在这殿里见的你吧？（雍正）

文例11～16も前出文例5～8同様に過去の意味を表す当文型の例である。2.2で挙げた前出文例5～8は動詞句部分の文意の発生終了を経て主語部分の表す

事物が発話時現在に於いて結果として存在していると思倣うことが出来、其処に因果関係が見て取れるものであるが、一方当処文例11～16に就いては、主語部分の表す事物が動詞句部分の文意発生終了前より存在し、発生終了後も同様に存在しており、前後で何等変化も見出せず、一見因果関係を見て取れない様に映る。然し細かく察すると、動詞句部分の表す文意が発生終了することを経、主語部分が表す事物は——動詞句部分の表す文意が発生終了した——と云う事実を性質として具有する媒体と成り、それが発話時現在に於いて存在していると思倣せるに至る。此処に因果関係が見て取れる（勿論文例5～8同様、主語部分の表す事物が発話時現在に於いて必ず存在していて且つその存在状況が確認されている特定事物でなければならず、それに因って動詞句部分の表す文意が発話時現在に於いて発生していないと判断出来る）。

動詞句部分が表す文意の発生終了を経て、発話時現在以前に於ける——主語部分の表す事物が動詞句部分の表す文意が発生終了したと云う事実を性質として具有していない状態——より、発話時現在に於ける——主語部分の表す事物が動詞句部分の表す文意が発生終了したと云う事実を性質として具有している状態——に移行したと思倣うことが出来、爰に過去の意味を確定せしめるに至る。

文例11は動詞句部分「不得已才撒谎（止むを得ず嘘を付いた）」の文意発生終了を経て発話時現在に於いてその様な事実を持つ主語部分「我（私）」——「我（私）」は直前の「刘墉（劉墉）」を指している——が存在していると云うことに成り、文例12は動詞句部分「在案子上见到（机の上で見掛けた）」の文意発生終了を経て発話時現在に於いてその様な事実を持つ主語部分「奴婢（私め）」が存在していると云うことに成り、文例13は動詞句部分「害死富全（富全を殺害した）」の文意発生終了を経て発話時現在に於いてその様な事実を持つ主語部分「你（御前）」——「你（御前）」は直前の「钟自鸣（鐘自鳴）」と云う人を指している——が存在していると云うことに成り（結果として発話時現在に於いて「如何害死富全的（如何に富全を死に追い遣ったのか）」と云う疑問文が成立し得る）、文例14は動詞句部分「这么说（その様に言った）」——「这么（その様に）」は直

前の「孙大虫の罪绝不可赦。如果他曹将军再干涉刑狱，连他也要问个包庇下属之罪（孫大虫の罪は赦されるべきものではない。若し曹將軍がこの上裁きに関与してくる様なら，彼に就いても自分の家来を庇護したと云う罪に問わねばならない）」を指している——の文意発生終了を経て発話時現在に於いてその様な事実を持つ主語部分「他（彼）」——「他（彼）」は「杜提刑（杜提刑）」を指している——が存在していると云うことに成り（結果として発話時現在に於いて「真的这么说的吗（本当にその様に言ったのか）」と云う疑問文が成立し得る），文例15は動詞句部分「为救我才挨打（私を助ける為に殴られた）」の文意発生終了を経て発話時現在に於いてその様な事実を持つ主語部分「这位哥哥（此方の御兄さん）」が存在していると云うことに成り，文例16は動詞句部分「在这殿里见你（この御殿で御前に会った）」の文意発生終了を経て発話時現在に於いてその様な事実を持つ主語部分「朕（朕）」が存在と云うことに成る（結果として発話時現在に於いて「在这殿里见的你吧（この宮殿で御前に会ったのであろう）」と云う疑問文が成立し得る）。

2.4 過去の意味を表す前出文例5～8及び文例11～16は，「主語＋是＋動詞句＋的」文型内に動詞句部分が表す文意を原因として見做せて主語部分の表す事物が結果として見做せる因果関係が見て取れ，加えて主語部分の表す事物が発話時現在に於いて必ず存在していて且つその存在状況が確認されている特定事物であるので，動詞句部分の文意の発生終了が発話時現在以前と見做せ，結果として過去の意味を持ち得るに至る。詰まりは，主語部分（主語部分の表す事物は発話時現在に於いて必ず存在していて且つその存在状況が確認されている特定事物）の存在時点である発話時現在を基準として過去の意味が成り立っているのである。これが過去の意味を表す当文型文型二形式中の一つ目である。

3 前出の過去の意味を表す「主語＋是＋動詞句＋的」文型は主語部分の表す事物が発話時現在に於いて必ず存在していて且つその存在状況が確認されている特定事物であるので，動詞句部分の文意発生終了が発話時現在以前と見做せ，結果として過去の意味を表すに至ると云う形式のものであったが，当文型が過去の意味を表し得る主要形式として今一つ別の形式が存在し，それは——主語部分の表す事物が発話時現在前に存在したものと見做せる場合——である。3

に於いては特にこの過去の意味を表す当文型の二つ目の形式に就いて考察してゆきたいと思う。

主語部分の表す事物が発話時現在前に存在したものと見做せる場合と云うのは、主語部分の表す事物の実体は発話時現在前に於いて存在していたが、発話時現在に於いては既に存在しておらず、主に話題としてのみ取り上げられて存在していると云う場合を指す。当文型内の動詞句部分の文意発生終了時間は主語部分が表す事物の存在時点に追従するので、主語部分が表す事物が発話時現在前に存在するものなら、動詞句部分が表す文意の発生終了時間も必然的に発話時現在前へと繰り上がる。当形式に就いて筆者は以前に於いても既に言及済みであるが¹⁰、本論文では更に詳しく考察してゆきたいと思う。

3.1 次に挙げる文例17～21は主語部分の表す事物の実体が発話時現在前に存在し、発話時現在に於いては、その実体が既に存在していないと見做せ、話題としてのみ存在するものと見做せるものである。

- 17 我说刘大人，徐五这小子可不好斗啊。他有钱有势，连巡抚大人都搬得动，前任的知府王大人就是被他挤兑走的。(刘墉)
- 18 李静婵因病被幽禁在后宫，他也曾有所耳闻，如今刘采苹却说李静婵死了，什么时候死的？(仁宗)
- 19 “大人，不好了，白玉莲自杀了！”刘墉一怔，赶紧擦了一把脸，问“什么时候，如何自杀的？”(刘墉)
- 20 隆科多是佟国维的族侄，佟氏一门贵盛，佟国维的哥哥佟国纲就是太子的外叔祖索额图¹¹坑陷死的。(雍正)
- 21 胤禛的第三胎儿子就是因钮祜禄氏¹²带孕侍候自己流产早夭的，听见这话，钮祜禄氏不觉眼圈一红。(雍正)
- 22 “既在清风店住过，你可知清风店发生了凶杀案？”“小人当然知道。那被杀的男子还是小人和店家发现的。”(刘墉)
- 23 像这么着窝里炮，拿着亲兄弟一个一个地宰，弄得宗室贵戚家家如坐针毡，哪一朝有过？三哥¹³的银子是万岁垫出来的，其余的兄弟谁家不是精穷，有什么好心情陪阿玛说笑话取乐儿？(雍正)

- 24 “这三亩三分田归在你名下有多久了？”“快两年了。”“买田的钱何时交付的？”（刘墉）

文例17の主語部分「前任的知府王大人（前任の知府である王大人）」は発話時現在前に於いて既に知府を解任されて発話時現在に於いては実体として存在せず話題としてのみ存在するものとして判断されるので、動詞句部分「被他挤兑走（彼に追い落とされた）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至る。文例18の主語部分「李静嫵（李静嫵）」は発話時現在前に於いて既に死んだものとされて発話時現在に於いては実体として存在せず話題としてのみ存在するものとして判断されるので、動詞句部分「什么时候死（何時死んだのか）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至る。文例19の主語部分「白玉莲（白玉蓮）」は既に死んだものとされて発話時現在に於いては実体として存在せず話題としてのみ存在するものとして判断されるので、動詞句部分「什么时候，如何自杀（何時如何に自殺した）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至る。文例20の主語部分「佟国维的哥哥佟国纲（佟国維の兄である佟国綱）」は発話時現在前に於いて既に亡くなっている発話時現在に於いては実体として存在せず話題としてのみ存在するものとして判断されるので、動詞句部分「太子的外叔祖索额图坑陷死（皇太子の母方の大叔父に当たるソングトゥが陥れて殺した）」もこれに追隨して過去の意味と判断されるに至る。文例21の主語部分「胤禩的第三胎儿子（胤禩の三番目に授かった息子）」は発話時現在前に於いて既に既に亡くなっている発話時現在に於いては実体として存在せず話題としてのみ存在するものとして判断されるので、動詞句部分「因钮祜禄氏带孕侍候自己流产早夭（ニオフル氏が自分に付き従っていた為に流産して早逝して仕舞った）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至る。文例22の主語部分「那被杀的男子（あの殺された男性）」は既に既に亡くなっている発話時現在に於いては実体として存在せず話題としてのみ存在するものとして判断されるので、動詞句部分「小人和店家发现（私めと宿屋の主が発見した）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う

過去の意味と判断されるに至る。文例23の主語部分「三哥的银子（第三皇子である兄の銀子）」は既に既に使われて無くなっている発話時現在に於いては実体として存在せず話題としてのみ存在するものとして判断されるので、主語部分「万岁垫出来（皇帝陛下が立て替えられた）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至る。文例24の主語部分「买田的钱（畑を買った御金）」は既に二年前に畑を買うことに因って使われて無くなっている発話時現在に於いては実体として存在せず話題としてのみ存在するものとして判断されるので、動詞句部分「何时交付（何時支払ったのか）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至る。

3.2 次に挙げる文例25～30は主語部分の表す事物が発話時現在に於いても実体として存在しているのではあるが、主語部分の表す事物として取り上げられている所は、同様事物乍ら発話時現在前に於ける一時間点に存在した情景に着目してこれを実体と見做し、これが発話時現在に於いて話題として取り上げられて発話されているので、主語部分の表す事物の実体が発話時現在前に存在し、発話時現在に於いては主に話題として存在していると見做し得るものである。

- 25 “刑道既然是省里的衙门，何以直接插手本府地方的案子？他这是漫过锅台上炕，于理不合呀。”何英说：“刑道那里自然好说，此事恐怕牵扯到抚台大人。孙刑道是受抚台¹⁴大人之命接受此案的。”（刘墉）
- 26 人和人不能比，奴才十二岁时，就知道偷着杀人家的狗吃。万岁爷这么英睿圣明，我看太子那么良善厚道，难比万岁机谋深远。何况当初鳌拜霸道专横，万岁也给逼出来的，这和太子爷处境也不一样……（雍正）
- 27 只金家如今已不在南京。金玉泽谋了北京朝阳门城门领的差使，邬思道说要进京，只怕就是奔他去的。（雍正）
- 28 听说那几个戏子是九哥¹⁵叫奴才们给你买的，我瞧着不错，八哥是个大方人，送了我如何？（雍正）
- 29 “十三爷，上回九爷府来信，还说到爷喜欢兵器，九爷叫小的给爷物色。特地请江西号上锻了两口宝剑进上去，不知爷收了没有？”“哦，那两口剑原来是你孝敬的？”（雍正）

30 吴敬梓应该是秀才，小民吴警梓那文章是吴大人替写的。（刘墉）

文例25主語部分「孙刑道（孫刑道）」は発話時現在に於いても存在しているのではあるが、発話時現在前に於ける一時間点に存在したものに着目してこれを実体と見做し、これが発話時現在前に於いて話題として取り上げられて発話されており、結果として実体は発話時現在前に存在して発話時現在に於いては主に話題として存在しているものと見做せる為、動詞句部分「受抚台大人之命接受此案（巡撫大人の御命令を受けて当件への処理を引き受けられた）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至り、文例26主語部分「万岁（皇帝陛下）」は発話時現在に於いても存在しているのではあるが、発話時現在前に於ける一時間点に存在したものに着目してこれを実体と見做し、これが発話時現在前に於いて話題として取り上げられて発話されており、結果として実体は発話時現在前に存在して発話時現在に於いては主に話題として存在しているものと見做せる為、動詞句部分「给逼出来（その時の状況に迫られた）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至り、文例27主語部分「邬思道（鄔思道）」は発話時現在に於いても存在しているのではあるが、発話時現在前に於ける一時間点に存在したものに着目してこれを実体と見做し、これが発話時現在前に於いて話題として取り上げられて発話されており、結果として実体は発話時現在前に存在して発話時現在に於いては主に話題として存在しているものと見做せる為、動詞句部分「奔他去（彼を頼って行った）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至り、文例28主語部分「那几个戏子（あの数人の芸人）」は発話時現在に於いても存在しているのではあるが、発話時現在前に於ける一時間点に存在したものに着目してこれを実体と見做し、これが発話時現在前に於いて話題として取り上げられて発話されており、結果として実体は発話時現在前に存在して発話時現在に於いては主に話題として存在しているものと見做せる為、動詞句部分「九哥叫奴才们给你买（第九皇子である兄上が家来共に命じて貴方を買って差し上げた）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至り、文例29主語部分「那两口剑（あの

二振りの剣)」は発話時現在に於いても存在してはいるのであるが、発話時現在前に於ける一時間点に存在したものに着目してこれを実体と見做し、これが発話時現在前に於いて話題として取り上げられて発話されており、結果として実体は発話時現在前に存在して発話時現在に於いては主に話題として存在しているものと見做せる為、動詞句部分「你孝敬（御前が献上した）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至り、文例30主語部分「小民吳警梓那文章（私め吳警梓のあの文章）」は発話時現在に於いても存在しているのではあるが、発話時現在前に於ける一時間点に存在したものに着目してこれを実体と見做し、これが発話時現在前に於いて話題として取り上げられて発話されており、結果として実体は発話時現在前に存在して発話時現在に於いては主に話題として存在しているものと見做せる為、動詞句部分「吳大人替写（吳大人が代わって書いてくれた）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至る。

3.3 次に挙げる文例31～36は基本的に3.1で挙げた文例17～21と全く同様の理屈のものなのであるが、此处で挙げる所は主語部分の表す事物が特に動作行為を指し示す場合のものである。その動作行為の実体が発話時現在前に発生終了し、発話時現在に於いては話題として取り上げられて存在していると見做される例である。この様な例は比較的頻繁に見受けられるものである。

- 31 大人万万不可屈尊与他争辩。刘墉既然敢这么做，自然有恃无恐。何况，不收寿礼，不做寿的话也是大人亲自说出的。刘墉故意拿着鸡毛当令箭，就是要阻大人的嘴啊！（刘墉）
- 32 胤禛表面平静，心里翻腾得厉害。他今晚此举，其实是做给皇帝和太子看的。（雍正）
- 33 平时精明如鬼的丁谓怎么能在这种场合里说出这么不得体的话？他糊涂了？不！恰恰相反，这才是丁谓极精明之处：这几句话是他故意当着众臣才说的，因为他知道此话一出口，立刻会有人反对，谁反对谁就把刘采苹得罪死了！（仁宗）
- 34 其实这酒后茶余的话，满可以一笑置之的——既如此，我们共进三杯，再

进岳父一杯，也好安歇了。好在有说话的日子呢！（雍正）

- 35 “胤禛，昨晚听说你罢筵不食拂袖而去？”胤禛没想到康熙信息如此灵通，吓了一跳忙道：“这是有的，儿子处事不谨，请皇阿玛责罚！”（雍正）

- 36 小民店里，昨夜发生一起凶杀人命案，没有被告，也没有原告。因是在小民店里发生的，所以，小民请地保一同前来县衙报案。（刘墉）

文例31主語部分「不收寿礼，不做寿的话（誕生日の贈物を受け取らず誕生日祝いも行わないと云う話）」は発話時現在前に発生終了して発話時現在に於いては話題として取り上げられて存在していると見做される動作行為であるので，動詞句部分「大人亲自说出（大人が自ら仰られた）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至り，文例32主語部分「他今晚此举（彼の今晚のこの行動）」は発話時現在前に発生終了して発話時現在に於いては話題として取り上げられて存在していると見做される動作行為であるので，動詞句部分「做给皇帝和太子看（皇帝や皇太子に見せる為に行った）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至り，文例33主語部分「这几句话（これ等幾つかの話）」は発話時現在前に発生終了して発話時現在に於いては話題として取り上げられて存在していると見做される動作行為であるので，動詞句部分「他故意当着众臣才说（彼が故意に多数大臣に向けて言った）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至り，文例34主語部分「这酒后茶余的话（御酒や御茶の序でに興ずる様なこれ等の雑談話）」は発話時現在前に発生終了して発話時現在に於いては話題として取り上げられて存在していると見做される動作行為であるので，動詞句部分「满可以一笑置之（全く以て一笑に付すべきものであった）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至り，文例35主語部分「这（これ）」——「这（これ）」は直前の「罢筵不食拂袖而去（宴を止めて飲食せず席を蹴って去った）」と云う動作行為を指している——は発話時現在前に発生終了して発話時現在に於いては話題として取り上げられて存在していると見做される動作行為であるので，動詞句部分「有（有った）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至り，

文例36主語部分「一起凶杀人命案（一件の殺人事件）」は発話時現在前に発生終了して発話時現在に於いては話題として取り上げられて存在していると見做される動作行為であるので、動詞句部分「在小民店里发生（私めの店内で発生した）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至るのである。

3.4 更に3.3の補足的説明とも言えるが、次に挙げる文例37～38は主語部分の表す事物が、更に直接的に発話時現在前に発生終了し、発話時現在に於いては話題として取り上げられて存在していると見做される例である。

37 她的青春时代是在张耆家里度过的，尽管那是一段屈辱的日子，可张耆对她悉心的照顾，无所不从的依顺，使她感觉到无比的满足和快乐。（仁宗）

38 你要知道，为娘这大半辈子，就是从大臣们的刀剑缝儿里钻过来的。为娘受了多少侮辱，多少惊吓，你一点儿也不知道。（仁宗）

文例37主語部分「她的青春时代（彼女の青春時代）」は直接的に過去に存在した事物を表すもので、発話時現在前に発生終了し、発話時現在に於いては話題として取り上げられて存在していると見做され、従って動詞句部分「在张耆家里度过（張耆の家で過ごした）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至り、文例38主語部分「为娘这大半辈子（母の人生の大半）」は直接的に過去に存在した事物を表すもので、発話時現在前に発生終了し、発話時現在に於いては話題として取り上げられて存在していると見做され、従って動詞句部分「从大臣们的刀剑缝儿里钻过来（大臣達より突き上げられる中を躲しつつ擦り抜けてきた）」もこれに追隨して発話時現在前に発生終了したと云う過去の意味と判断されるに至るのである。

4 以上「主語＋是＋動詞句＋的」文型が過去の意味を表し得る形式に就いて述べてきた。この様な形式には主に下記二形式が存在すると云うことがこれ迄の説明で御理解頂けたと思う。

- ① 主語部分（主語部分の表す事物は発話時現在に於いて必ず存在していて且つ存在状況が確認されている特定事物でなければならず、それに因って動詞句部分の表す文意が発話時現在に於いて発生していないと判断出来る）の存在時点である発話時

現在を基準として過去の意味が成り立っているもの。

- ② 主語部分の表す事物が発話時現在前に存在したものと見做せ（事物の実体は発話時現在前に於いて存在していたが、発話時現在に於いては主に話題としてのみ存在していると思わせるもの）、動詞句部分文意の発生終了時間もこれに追隨して繰り上がって必然的に発話時現在前と見做され、過去の意味が成り立っているもの。

当文型動詞句部分が過去の意味を表すにはその表す所の文意が発話時現在前に於いて発生終了しているものでなければ成らない。詰まり開始点と終了点が確保されている必要が有る。「動詞句＋的」部分の動詞句部分が動作行為を表す場合、その様な文意を性質として具有すると云う前提であるので、明確不明確は別として、基本的に開始点は内包されているので、故に特に終了点の確保が必要と成る。①では発話時現在に於いて動詞句部分の表す文意は発話時現在以前に於いて発生存在していないと確認されるので、終了点が確保され、爰に過去の意味が成り立つ。②では主語部分、動詞句部分とも表す所は発話時現在前のものと見做され、文意発生終了全体を発話時現在前に繰り上げさせることに依って終了点を確保しており、爰に過去の意味が成り立つ。

「動詞句＋的」部分は動詞句部分が表す文意を性質として具有する媒体であるので、既にその様な性質を持っているものと解釈出来、この様な文意は所謂已然義と云うものであると解釈出来る。已然義とは発話時現在前に於いて既にその様な状態と成り、発話時現在に於いても尚その様な状態が継続存在していると云う現在完了の意味合いを指すものである。以前筆者は、当文型内の因果関係より已然義が発生し、これが最終的に過去の意味に繋がると考えていたが、この様な解釈も成り立つと言えれば成り立つものの、矢張り少々妥当性を欠くと思うに至った。要するに「動詞句＋的」部分には固より漠然と已然義が内包されており、注意すべきはその已然義の内容で、その内容が過去の意味を示す場合に於いてのみ当文型が過去の意味を表し得ると云うことである。已然義と当文型の関係性に就いても今後考察を加えてゆく必要が有るのだが、本論文に於いて其処迄は論じないこととする。

当文型の過去の意味は当文型内に内包されるものではなく、当文型と関連する複数要因が相互に作用し合うことに因って成り立っている特殊形態なのである。

【注】

- 1 「主語＋是＋動詞句＋的」文型の「是」部分は省略されることも多い。又当文型の「動詞句」部分についてであるが、動詞句部分に状況語を伴うもの、又動詞句部分の表す動作行為の動作主を内に含めるものも全て含めて「動詞句部分」としている。
- 2 原文：
小王是第一个跳下水去的 (S1)。
第一个跳下水去的是小王 (S2)。
前一句是对于小王这个对象的性质的陈述，即“小王”是“第一个跳下水去的”那样的人；后一句表示等同，即确认“第一个跳下水去的人”和“小王”之间的同一性（第一个跳下水去的不是别人，是小王）。 “的”字结构和判断句（下） 1978
- 3 督抚。督撫（とくぶ）とは明清時代に於いて総督（そうとく）と巡撫（じゅんぶ）を合わせて言った称号。両者とも地方政治の長官。
- 4 北闈。北闈（ほくい）とは明清時代の科举制度に於いて順天府（北京）で行われた郷試のこと。科举は主に三段階より成るが、郷試、会試、殿試である。郷試とはその第一段階に当たる。
- 5 原文：
“肩膀子红是扛锄头扛的。”这类句型本文记为 Sf。它们有三种表现形式：
i 肩膀子红是扛锄头扛的。
腿疼是跑步跑的。(A 是“VN”)
ii 耳朵聋是大炮震的。
皮肤黑是太阳晒的。(A 是“施事”)
iii 手凉是在外面冻的。
腰疼是在车上挤的。(A 是“处所”)
1) T 与“AV 的”之间存在着因果关系，因此无论是 T 还是“AV 的”都是已经实现了的，也就是说，整个句子是已然义的。…… 表已然义的“的 b”补议 1984
史有為氏は動詞句部分を原因と為し主語部分を結果と為す因果関係より「主語＋是＋動詞句＋的」文型の過去の意味が成り立っていると解釈している。
- 6 江宁织造。江寧織造（こうねいしょくぞう）。明清時代に於いて宮中内務府が南京（江寧）に設置した出先機関。宮中が必要とする絹織物製品の調達を役目とした。
- 7 曹玺。曹璽（そうじ）1629～1684。清代康熙朝期の高官。曹雪芹（紅樓夢作者）はその子孫。
- 8 喝死牛血。直訳すると、頑固な性格である牛の血を飲み続ける。頑固な性格で融

通の利かないことを云う。

- 9 羊霜霜。羊霜霜（ヤンショアンショアン）は羊霜腸（ヤンショアンチャン）とも称し、北京の食品で、羊の小腸に羊の血を注ぎ込んで煮込んだもの。
- 10 「栗原千里 2024「是…的」文型と過去の意味について」に於いて少し言及させて頂いた。
- 11 索額图。索額図（ソンゴトゥ）。清代康熙朝期の大臣。姓は赫舍里（ヘシェリ）氏。
- 12 鈕祜禄氏。康熙帝第四子愛新覺羅胤禛（後の雍正帝）側室の鈕祜禄（ニオフル）氏のこと。鈕祜禄（ニオフル）とは満州人の姓の一種。
- 13 三哥。三哥とは三番目の兄と云う意味であるが、此处では康熙帝第三皇子愛新覺羅胤祉を指している。弟である康熙帝第十皇子愛新覺羅胤禵の発言であるので「三哥」と称している。本文では「第三皇子である兄」と訳させて頂いた。
- 14 抚台。撫台（ぶだい）とは巡撫の別称。
- 15 九哥。九哥とは九番目の兄と云う意味であるが、此处では康熙帝第九皇子愛新覺羅胤禵を指している。弟である康熙帝第十皇子愛新覺羅胤禵の発言であるので「九哥」と称している。本文では「第九皇子である兄」と訳させて頂いた。

【参考文献】

- 朱德熙 1978 “的”字结构和判断句（下）《中国语文》第2期 中国社会科学院语言研究所
- 史有为 1984 表已然义的“的b”补议 《语言研究第1期》 华中科技大学中国语言研究所
- 栗原千里 2009 「是…的」構文と過去時制について 『桜文論叢』第73巻283～300頁
- 栗原千里 2013 「是…的」構文と已然義の関係について 『桜文論叢』第84巻89～115頁
- 栗原千里 2021 「是…的」構文の主語が文意の時制等に及ぼす影響について 『桜文論叢』第103巻263～285頁
- 栗原千里 2024 「是…的」文型と過去の意味について 『桜文論叢』第109巻49～70頁

【参照資料】

- 《雍正皇帝—九王夺嫡》 1999 二月河著 巴比伦出版社⇒（雍正）
- 《刘墉》 2001 赵辉著 北京图书馆出版社⇒（刘墉）
- 《赵宋王朝・仁宗皇帝》 2007 李之亮著 江苏文艺出版社⇒（仁宗）